

伊丹 職人



2025年 6.13^金 → 7.21^{祝月}

会場 市立伊丹ミュージアム 展示室3

休館日：月曜日（ただし7月21日は開館）

開館時間10:00～18:00（入館は17:30まで）

料金：一般300（250）円/大高200（150）円/中小150（100）円

※（ ）内は20名以上の団体料金

※兵庫県内の小中学生はココロカード提示にて無料

※伊丹市在住の高齢者料金有（平日60歳以上、土日祝65歳以上）

主催：市立伊丹ミュージアム [伊丹ミュージアム運営共同事業体 / 伊丹市]



市立伊丹ミュージアム

Itami City Museum of Art, History and Culture

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 2-5-20 TEL. 072-772-5959（代表） <https://itami-im.jp/>

自身の技術でモノを作ることを生業とする職人。伊丹にもかつてさまざまな職人が活躍していました。なかでも古くからその存在が知られているのは番匠(大工)で、応永20年(1413)に現在国宝に指定されている大師堂(西院御影堂)を修復した記録が残っています。また、当館が所蔵する市指定文化財「元禄7年柳沢吉保領伊丹郷町絵図」には大工のほか、江戸積酒造業で栄えた伊丹郷町にふさわしく、酒樽をつくる樽職人の名前も見えます。さらに時代が下り明治時代になると、勸業政策の一つとして奨励された園芸業が伊丹北部地域で花開き、荒牧や鴻池では植木職人が活躍しました。そして2024年に伊丹市がおこなった市域の聞き取り調査では伊丹南西部にある堀池の靴職人の存在が明らかとなりました。

本企画展では、江戸時代から昭和初期に活躍した伊丹の職人をとりあげ、失われつつある市域の職人文化に迫ります。職人を描いた絵巻や錦絵、職人が使っていた道具など約70点の資料を通して、時代を支えた職人たちの姿を身近に感じていただけたら幸いです。



①



②



③



④



⑤



⑥

- ① 衣喰住之内家職幼解之図 大工 第八 第九(市立伊丹ミュージアム蔵)
- ② 土農工商之内職人尽(市立伊丹ミュージアム蔵)
- ③ 花檜棟上寿語六(竹中木工道具館蔵)
- ④ 七十一番職人歌合 番匠/鍛冶(兵庫県立歴史博物館蔵)
- ⑤ 靴づくり道具(部落解放同盟伊丹支部蔵)
- ⑥ 酒樽・桶づくり用具一式(県指定文化財/市立伊丹ミュージアム蔵)

関連イベント

クラフトワークショップ「古典柄の団扇」

古典柄や植物、虫などの型紙からステンシルの技法で模様をつけた団扇づくり

日 時:6月22日(日)①10:30 ②13:30 ③15:30

会 場:市立伊丹ミュージアム1階 アトリエ

定 員:各5名 ※要事前申込

参加料:500円(材料費)

受付開始日:5月15日(木)10時~

お電話(072-772-5959)にて受付(先着順)

関連講座

「伊丹職人づくし」

江戸時代の伊丹の職人文化についての講演会。

講 師:上野由貴(当館学芸員)

日 時:7月9日(水)14:00~(1時間半程度)

場 所:市立伊丹ミュージアム1階 講座室

定 員:20名 ※要事前申込

参加料:当日展覧会観覧券をご持参ください。

受付開始日:6月4日(水)10時~

お電話(072-772-5959)にて受付(先着順)



交通案内

阪急伊丹駅より北東へ徒歩約9分、JR伊丹駅より北西へ徒歩約6分、阪急バスの伊丹中央停留所より北へ徒歩約3分

専用駐車場はありません。宮ノ前地下駐車場(有料)をご利用ください。

同時開催

美術部門所蔵企画展 (入場無料)

会 期:2025年6月13日(金)~7月21日(月・祝)

会 場:展示室5

郷町○店

『TI/ME』 2025年6月19日(木)・20日(金) 11:00~14:00L.O.

— takefumi saitoのワンプレートランチを文化財の町家で味わう —

茶×米 2025年6月28日(土)・29日(日) 11:00~16:00

みどり園佐野文彦×takefumi saito

「日本茶と米、シンプルかつ究極のペアリング、第4弾」

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 2-5-20

TEL. 072-772-5959 (代表)

<https://itami-im.jp/>



I'M 市立伊丹ミュージアム
Itami City Museum of Art, History and Culture